

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・町内行事などの参加はしているものの、今、 一歩踏み込んだ交流ができていない。 ・ホームの特性や認知症の理解を広めていく活動ができていない。	1. 地域活動を通して、地域の人々と交流することに努める。	町内の行事、奉仕活動などに積極的に参加する。地域の役員の方に運営推進会議に入っただき、地域との関係作りに取り組む。「大池便り」を地域の方に配布する。ホーム行事への参加呼びかけをする。認知症サポーターを少しでも増やすことに努める。	10ヶ月
2	37	・非常災害時における協力体制が確立されていない。	1. 地域の方との協力体制を築くよう努める。	運営推進会議メンバーの方の協力を得る。大池自治会長を通して、近隣の方の協力要請ができるよう説明し、助言を頂く。近隣住民の参加による避難訓練の実施と連絡網の確立。	6ヶ月
3	15	・認知症介護の専門職としてのスキルアップに努める。 ・役割を通して、自主性や責任感などを育てる	1. 認知症の専門職としての学びを深める。 2. 自主性を持った取り組みが出来る。	1. 研修参加(内外)を計画的に行う。伝達講習の実践(皆で共有する)現場での問題解決や事例検討を積極的に行っていく。 2. 担当者としての役割を明確にする。教育・レク・感染環境、権利擁護・広報などの活動計画立案、実践、評価 月に1回委員会開催	10ヶ月
4	28	・センター方式でのアセスメントの活用が、十分ではない。 ・「その人らしさ」こだわった介護を考える。 ・認知症介護に関する考え方を共有、学ぶ機会を多く持つ。	1. その人らしい介護計画になるよう努める。	センター方式のアセスメントを勉強する。ご本人やご家族の希望を常に聴取していく。認知症に関することや介護方法等その都度カンファを実施し、その方の理解を深める。	10ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

